



ごみ減量・リサイクル
推進啓発キャラクター
メビウスちゃん



●編集・発行 仙台市環境局家庭ごみ減量課
●電話 214-8226

あなたとわたしの声をつなぐクリーン仙台推進員のコミュニケーション情報誌

夏のクマに注意！	1P
排出実態調査の実施方法が新しくなります！	2P
ごみ集積所管理備品への補助制度を始めました	3P
資源になる紙、捨てていませんか？	4P

問 環境共生課 214-0013

〇ツキノワグマの対策ページは下記の二次元コードよりご確認ください。



クマに注意!!
過去の人身被害はほぼ「出会い頭」に発生しています。出没抑制や捕獲などの対策を強化していますが、被害に遭わないための対策にご協力をお願いします。

ツキノワグマの特徴

体長	成獣で110cm～150cm	特徴	全身が黒い体毛に覆われている。筋肉がたくましく、身のこなしはしなやか。木登り、穴掘りなどのための力が強く、爪も発達している。足は速く、時速40m程度に達する。行動圏は30～50km ² 程度。子グマは生後1年半ほど母グマと一緒にいる。
体重	成獣で80kg～120kg	行動	春と秋に食べ物を求めて活発に行動する。
視覚	非常に優れている	食べ物	山菜、栗やドングリなどの木の果、柿等の果物やハチミツが好物。生ごみやコンポストをあさることもある。
嗅覚	あまりよくない		
聴覚	非常に優れている		

クマを人里に引き寄せないようにしましょう

- 果実や野菜の収穫はお早めに!
- 生ごみの管理の徹底を!
- 建物の蜂の巣は放置しない!
- クマが潜みやすいヤブを刈りましょう!

① 仙台市

◆夏のクマに注意!◆
夏は山中に餌が少なく、クマの行動範囲が住宅地付近まで広がることがあります。また、クマは雑食のため、生ごみに引き寄せられることもありますので、屋外に長時間生ごみを放置することは避け、ごみを出すときは臭いがもれないよう気を付けましょう。

クマは、早朝や夕方に活発に活動します。目撃情報のある地域では、朝のごみ出し時や登山・ハイキング等にお出かけの際に、鈴やラジオを携帯しましょう。万が一クマに出合った場合には慌てず、向き合ったままゆっくり後退してください。

なお、クマに関する情報は市ホームページ（サイト内検索で「ツキノワグマ対策」と検索）をご覧ください。

資源になる紙、捨てていませんか？

～「雑がみ」分別でごみ減量・リサイクルにご協力を～

新聞や段ボールは分けているけれど、分別に悩んで家庭ごみに捨てている…そんな紙はありませんか？

- (例) ・お菓子の箱、ボックスティッシュの箱
・トイレットペーパーの芯
・ダイレクトメールなどのチラシ類、プリント

これらは「雑がみ」と呼ばれる資源です

◆ 分けよう資源！雑がみの出し方 ◆

こまかいものが多い雑がみ。まずは紙袋などにまとめておきましょう。ある程度溜まったら、散らばらないように紐でしばって出しましょう。

- 【出す方法】 ①月2回の「紙類」の収集日
②地域の集団資源回収
③市民センター等にある資源回収庫



⚠ 匂いのついたもの、汚れているもの、レシート、ティッシュペーパー、圧着はがき、ビニールやアルミでコーティングされたものなどはリサイクルに向きません。家庭ごみへ。

予告！新しい集積所ポスターを送付します

掲示板や集積所等に掲出いただくポスターを8月に定日収集生活ごみ処理申出団体に送付します。

近年、スマートフォンなどに使われるリチウムイオン電池が家庭ごみ等に混入したことによる発火事故が増加しているため、正しい排出方法呼び掛けます。

リチウムイオン電池は「缶・びん・ペットボトル、廃乾電池類」の日に黄色の回収容器へ。地域の皆様への周知にご協力をお願いします。

●送付ポスター
「リチウムイオン電池等適正排出啓発ポスター（イエローに入レヨ〜）」



●送付時期 8月上旬

問 家庭ごみ減量課 214-8229

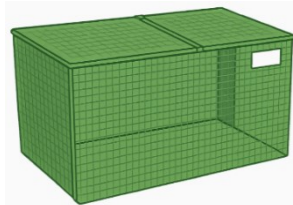
ごみ集積所管理備品への補助制度を始めました

仙台市では、令和8年度より、ごみ集積所の管理や環境改善を支援するため、折り畳み式ごみボックス、ハンサムネット、固定式ごみボックスの購入や修繕にかかる費用の一部を補助する事業を開始しました。

【補助の内容】

①折り畳み式ごみボックス（固定資材含む）購入費用 1台あたり、対象額の1/2（上限20,000円、最大2台まで）
②ハンサムネット（固定資材含む）購入費用 1台あたり、対象額の1/2（上限18,000円、最大2台まで）
③固定式ごみボックス購入費用 対象額の1/2（上限30,000円、最大1台まで）
④固定式ごみボックス修繕費用 上限30,000円（最大1台）
⑤固定式ごみボックス移設又は処分費用 上限30,000円（最大1台）
⑥【既存共同住宅向け】①～③のいずれかの購入費用 上限10,000円（最大1台）

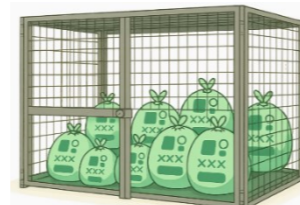
※補助対象額は、消費税及び送料・手数料等を含まない金額となります。



折り畳み式ごみボックス



ハンサムネット



固定式ごみボックス

【制度の利用にあたって】

補助制度を利用される場合は、一定の要件があるため、**備品を購入する前に必ず**各区の環境事業所へご相談ください。制度のご説明に加え、設置を希望される備品の確認や、設置場所の現地確認を行います。

制度の詳しい内容や申請の要件については、仙台市ホームページまたは仙台市ごみ減量・リサイクル情報総合サイト「ワケルネット」をご覧ください。

排出実態調査の実施方法が変わります！

地域の皆さまにご協力いただいていた「排出実態調査」について、各団体、クリーン仙台推進員、クリーンメイトの皆さまがより取り組みやすく、また調査結果を地域の取り組みに活かしやすい内容となるよう、見直しを行います。

これまで調査に携わっていただいた皆さまからのご意見も踏まえ、手続きの簡略化・内容の分かりやすさを重視しています。



〇見直しのポイント

① 申込手続きが不要になります



これまで必要だった事前申込や調査用紙の送付手続きが不要となります。市ホームページから調査用紙をダウンロードして、そのまま調査を実施できるようになります。

調査用紙はこちらの二次元コードからダウンロードできます→



② 実施時期を自由に決められます

これまで10月頃に実施していましたが、今年度からは期間を限定せず、各団体の都合に合わせて行えるようになります。団体の忙しい時期を避けたり、地域行事に合わせてたりと、無理のないスケジュールで取り組みます。



③ 調査内容がわかりやすくなります

これまでの詳細な記載が必要な様式を見直し、短時間で確認でき、記録しやすい内容としています。調査項目は、「家庭ごみ」「プラスチック資源」「缶・びん・ペットボトル・廃乾電池類」「集積所の管理状況」の4項目で、資源物が混入している袋の排出数や排出状況について、2～3段階から選択できる、取り組みやすい様式となっています。



④ 調査結果は地域でご活用ください

これまでお願いしていた本市への調査結果の提出は、今年度から不要になります。調査結果を地域で共有し、分別啓発や活動の振り返りなどに役立てていただければ幸いです。

問 家庭ごみ減量課	214-8226	青葉環境事業所	277-5300
宮城野環境事業所	236-5300	若林環境事業所	289-2051
太白環境事業所	248-5300	泉環境事業所	773-5300